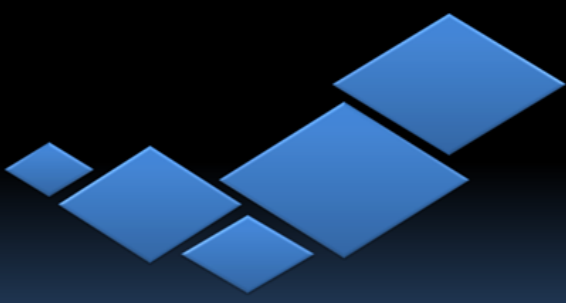




Title	月刊DRF 第37号
Author(s)	デジタルリポジトリ連合
Issue Date	2013-02-01
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/73588
Type	periodical
Note	事務局: 北海道大学附属図書館; http://drf.lib.hokudai.ac.jp/ で公開したもの
File Information	DRFmonthly_37.pdf



[Instructions for use](#)



特集1 学位規則改正
特集2 月刊DRF 発刊3周年記念
トピックス DRF・CAIRSSミーティングレポート

Thesis

特集1 学位規則改正

2013年4月より学位規則が改正されます。これまでの印刷媒体での公表の義務化に代わり、電子化された論文をインターネットを通じて公表することが義務付けられることになります。

当然のことながら、機関リポジトリがその主な役割を担うことになり、灰色文献的要素が強かった学位論文が入手しやすくなることは間違いありません。



今回の学位改正案に対し、昨年11月に募集されたパブリックコメントを踏まえて今年1月16日に中央教育審議会大学院部会が開催されました。その様子をご報告いたします。

<内島秀樹（筑波大学）>

パブリックコメントで示された意見には、論文の性格上、「やむを得ない事由により」インターネット上での公開にすぐにはなじまないものもある、という指摘もありました。16日の部会では、その他のコメントも含め、改正案を覆すような大きな支障は認められず、原案通り了承されました。

次ページに今後の要点をまとめてみました。

今回の改正案に従う場合の今後の要点

1.改正により各機関がWebで公開することになるコンテンツ

- ・本人が作成するもの・・・学位論文、「やむを得ない事由」がある場合の本人作成要旨
- ・学位授与機関が作成するもの・・・学位論文審査要旨、学位論文要旨
- ※要旨のみ公開する場合は、本文は授与機関において閲覧公開することになる

2.公開の方法（公開する方法は各機関に一任）

- ・機関リポジトリないしは公開用WEBサイト（公開の手段がない場合、国立国会図書館から公開も可能）

3.国立国会図書館（以下NDL）へのコンテンツの送付方法（NDLへは従来通り送付することになる）

- ・NDLが機関リポジトリ（あるいは公開WEBサイト）から本文ハーベスト*
- ・公開手段がない場合は、WEB経由で本文データ等をNDLへ提出（後にNDLからWEB公開）

4.NIIの協力

- ・機関リポジトリからのハーベスト方法
- ・公開手段がない場合のJAIRO Cloudの利用

5.1， 2， 3を実現するための規程改正

- ・大学の学位規則の改定（印刷・公表→インターネット上での公表）
- ・下位にある大学院（研究科）の学位規則の改定（同上、さらに具体的な記述含む）

※ハーベスト・・・授与機関の機関リポジトリから博士論文のデータを自動収集すること。NII経由でNDLが博士論文の本文ファイル等のデータを収集し、公開する。

今回の学位論文のインターネット公開への転換は、欧米で言われているパッチワークマンデート（部分義務化）の手法を、学位論文という特定コンテンツに対して公的に適用したものとと言えます。中央教育審議会の配布資料にもオープンアクセスや機関リポジトリといった言葉が出てきており、普及活動が一段進んだ感があります。

今後は、大学図書館としての学位論文担当部署と連携しながら、学位論文のOA化を進めることが課題となります。

今回の改正案に関する詳細は、DRF-wikiにも記載されておりますので、ご覧ください。

DRF wiki> 関連資料集> 機関リポジトリの設立・運営に関する参考文献

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?references>



富田健市氏「学位論文電子化の諸問題に関するWG」座長（岡山大学）からのコメント

学位規則の改正については、今月号に筑波大学の内島課長による中央教育審議会大学分科会大学院部会の傍聴報告が掲載されていますが、2月中には省令改正の通知が文部科学省から各大学に送られる予定と聞いています。この改正により平成25年4月1日以降に授与された博士の学位に係る論文については、原則としてインターネットで公表することが義務付けられることとなります。

また、改正の通知と同時期に送られる高等教育局長通知により、国立国会図書館に電子データを提供することも求められます。今回の改正は教務系の部署が主担当となる場合が多いと思われるのですが、インターネットでの公表及び国立国会図書館との連携については大学図書館に経験の蓄積があるため、期待される場面も多いと考えています。また、今回の改正の趣旨を反映し運用を円滑に行うためには、担当部署と大学図書館ばかりではなく、国立国会図書館、国立情報学研究所との連携も必要になってきます。このため、「国立国会図書館と大学図書館との連絡会」の下に設置されている「学位論文電子化の諸問題に関するワーキング・グループ」では、大学図書館で対応すべき項目についてのとりまとめ作業を行っています。詳細は次号でお知らせしますが、DRFとも連絡をとりつつ、WG発足時からの悲願でもあった博士論文のオープンアクセス化がスムーズに進むことに多少なりとも協力できればと考えていますので、よろしくお願いします。

月刊DRF 発刊3周年記念

おかげさまで持ちまして月刊DRFは3周年を迎えました。レポートや紹介記事、インタビューなど毎回たくさんの方にご協力いただき、ありがとうございます。

今回その記念として過去の月刊DRFを振り返ってみます。



月刊DRF誕生！

平成22年2月5日に新体制が発足し、その報告と同時に月刊DRFも誕生しました。



No.2

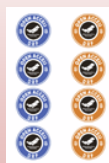
“Dr.F”と“りほこちゃん”登場



No.8 初の付録つき！

“OAWに参加しよう！”の記事にあわせてOA△スタンドとDRF OAロゴです。

現在はDRFwikiのOAWのページにもあります。



<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?%E6%9C%88%E5%88%8ADRF#p4d4ff86>



No.13 1周年！！

8人の女たちが熱い！
熱すぎて二次会が増刊号に(笑)

数字で見る月刊DRF

総ページ数 180ページ

イベントや研修会の報告 73回

参加機関紹介 のべ44機関



No.24 新春川柳句会

2012年の抱負を5・7・5でひねっていただきました。「川柳をつくろう」でも、4回で34句が読まれています。DRFには詠み人が多い？

「ふ」で始まる川柳は、まだまだ募集中！



No.30 国内リポジトリの本文ありコンテンツが100万件を突破！

100万件目が掲載された鹿児島大学リポジトリから、附属図書館長のコメントをもらいました。

No.37 月刊DRF3周年！

これからも月刊DRFは、誰もが「見やすく」「楽しく」「ためになる」をモットーに進化し続けます。乞うご期待！！

またこれを機会に是非各部署にてご回覧ください。

月刊DRF 英語版！？

No.36は英語版も同時発行しました。過去分は有志で英語化したものも。あなたもおひとついかがですか？

DRF・CAIRSSミーティングレポート

2012年12月5日（水）北海道大学東京オフィスにて、CAIRSSプロジェクトの前・戦略アドバイザーである南シドニー大学のピーター・セフトンさんをお招きし、日豪両国のオープンアクセスの現状やリポジトリコミュニティに関する情報交換を行いました。



CAIRSSとは？

CAIRSS（CAULオーストラリア機関リポジトリサポートサービス）はオーストラリア全32大学の図書館連合であるCAUL（オーストラリア大学図書館協議会）のリポジトリサポートプロジェクト。2009年3月に設立され、第1期は2009-2011年、第2期は2011-2012年を活動期間とし、第2期ではニュージーランドの大学も

加わった。主な活動は、年次ミーティング、クローズドなメーリングリストによるディスカッション、著作権をテーマとしたワークショップの開催などである。2013年以降はCRAC（CAUL研究諮問委員会）として再出発するとのこと。

CAIRSS HP <http://cairss.caul.edu.au/cairss/>

CAIRSSプロジェクトのために、専任人材をフルタイムで雇用していたことや、第2期の活動資金として各大学が5000豪ドルを拠出したこと、データのためのリポジトリをすでに始めていることなどが印象的でした。CAIRSSプロジェクト終了後の2013年、新たに始まるCRACプロジェクトにも注目です。＜阿部潤也（東京歯科大学）＞



ピーター・セフトン氏



DRFでは、今後はMoUの締結やCRAC MLへの参加などを予定しています。DRFの国際活動にもご注目ください。

詳しくはこちら→ <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?DRF%20CAIRSS%20meeting>

【次号予告】3月号

- ・2012年度WG活動報告
- ・DRF-Kagawa報告ほか

<http://www.facebook.com/DigitalRepositoryFederation>

Facebookはじめました。



月刊 DRF 読者アンケート受付中！

http://drf.lib.hokudai.ac.jp/gekkandrf_inq.html

月刊 DRF

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/gekkandrf>

